

# ウラジロヨウラク

*Menziesia multiflora* Maxim.  
ツツジ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

既知の生育地点は21箇所である。前回の調査では取り上げられなかったが、県内での生育地が限られており、県域絶滅危惧Ⅱ類とした。

## 種の特徴

山地の森林の林縁や湿った場所に生える落葉低木。高さ1～2mになる。葉は楕円形または倒卵形、葉の裏面は白みを帯びる。5～7月頃、枝先に3～10個の花が束状に下垂する。花冠は狭鐘形で、全体が紅紫色、先は5裂する。萼片は5枚。雄蕊は10本。

## 分 布

本州（東北地方、関東地方、中部地方）に分布。県内では、坂井市、永平寺町、勝山市、大野市、越前市、池田町で確認されている。

## 生育を脅かす要因

生育地である森林の開発。植生遷移による生育環境の悪化。園芸目的の採取。登山道整備への注意が必要である。

参考文献 佐竹義輔（1989b）、福井県植物研究会編（1999）、福井県樹木誌（2011）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
									○	○	○	○			○	○	

# シャクジョウソウ

*Monotropa hypopithys* L.  
ツツジ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

既知の生育地点は9箇所である。菌従属栄養植物のため、もともと数が少ないうえ、県内での生育地は限られており、県域絶滅危惧Ⅱ類とした。

## 種の特徴

山地の林内のやや暗い場所に生える。菌従属栄養植物で、キシメジ科キシメジ属菌と菌根を形成して生育する。全体が淡黄褐色。茎は高さ10～20cm。鱗片葉は広卵形で、先がとがる。6～8月頃、茎の先に総状花序をつくり、4～8個の下向きの花をつける。

## 分 布

北海道～九州に分布。県内では、大野市、福井市、越前町、敦賀市、小浜市で確認されている。

## 生育を脅かす要因

生育地である森林の開発。植生遷移による生育環境の悪化。菌従属栄養植物で、もともと個体数が少なく、宿主の生育状況の影響を受けやすい。

参考文献 佐竹義輔ほか（1981）、松田陽介（2013）、若杉孝生（1977）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
					○	○	○									○	○

# アオノツガザクラ

*Phyllodoce aleutica* (Spreng.) A.Heller  
ツツジ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

既知の生育地点は1箇所である。前回の調査では取り上げられなかったが、県内での生育地が亜高山帯に限られているため、県域絶滅危惧Ⅱ類とした。

## 種の特徴

高山の雪渓のわき等の湿気のある草原や岩場に生える。高さ10～30cm。葉は線形で縁に微小な鋸歯がある。7～8月頃、枝先に4～10個の下向きの花をつける。萼片は緑色、広披針形、背面下部に腺毛が生える。花冠はつぼ形で黄緑色。

## 分 布

北海道～本州（中部地方以北）に分布。県内では、大野市で確認されている。

## 生育を脅かす要因

生育地である亜高山の環境の変化。温暖化による生育地の減少。登山道整備への注意が必要である。

参考文献 佐竹義輔ほか（1981）、福井県植物研究会編（1999）、福井県樹木誌（2011）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	